

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復科	夜・通信	17 単位	9 単位	
	鍼灸科	夜・通信	15 単位	9 単位	
	理学療法科	夜・通信	12 単位	12 単位	
	診療放射線科	夜・通信	9 単位	9 単位	
	看護科	夜・通信	11 単位	9 単位	
	歯科衛生科	夜・通信	10 単位	9 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ： https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページの「理事会名簿」において公表する。
URL：<https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市議会議員	2024.4.1 ～ 2025.3.31	適切な法務が運用されているかを管理する役割が期待される。
非常勤	元高等学校 校長	2024.4.1 ～ 2025.3.31	学校教育全般に係る指導管理についての役割が期待される。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教育課程編成委員会等にてカリキュラムの内容、到達目標等についての見直しを行う。それを踏まえ担当教員を中心に授業計画書を作成する。4月頃に授業計画書を学生に配布し、同時期に学校ホームページ上で公開する。	
授業計画書の公表方法	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目は定期試験、レポート等により客観的かつ厳正に評価を行っている。評価は0～100点にて行い、授業科目の学修成果を把握している。また、単位の認定は成績判定会議を行い決定している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業科目は定期試験、レポート等により客観的かつ厳正に評価を行っている。評価は0～100点にて行い、授業科目の学修成果を把握している。また、単位の認定は成績判定会議を行い決定している。本校での授業科目は各学科の養成所指定(認定)規則により、免除される科目以外はすべて必修であり、当該学科・学年における履修科目に大きな差はない。そのため成績の分布については受講科目の点数を平均して順位を算出し、クラス内の相対的習熟度(順位)を把握し、指導を実施している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学則第 21 条において、学則第 10 条（成績評価）に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。また所定の修業年限以上に在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。この内容については、ホームページで公開している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡医療専門学校
設置者名	学校法人福岡医療学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
財産目録	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
事業報告書	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
監事による監査報告（書）	https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	柔道整復科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2760 単位時間／単位	1575 時間	390 時間	180 時間	0 時間	615 時間	
			2760 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
180 人		143 人	0 人	17 人	22 人		39 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を

設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34 人 （100%）	8 人 （ 23.5%）	26 人 （76.5%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 整骨院：赤坂名倉堂鍼灸接骨院、甲斐整骨院、かわしまはりきゅう整骨院、堺整骨院、ささばる整骨院、なごさ整骨院、ふるかわ整骨院、ふじさき鍼灸整骨院、ほのぼの整骨院、本多鍼灸整骨院、溝口整骨院、みやざき整骨院、りきたけ整骨院、リハビリデイサービスコンパスワーク栄町、NAOSEL 整骨院等			
（就職指導内容） 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
資格・検定名	受験者数	合格者数	
柔道整復師国家資格	40 人	40 人	
JATI-ATI	17 人	17 人	
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
142 人	10 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	鍼灸科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2685 単位時間／単位	2025 時間	0 時間	180 時間	0 時間	480 時間
			2685 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		127 人	0 人	9 人	19 人	28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。	
学修支援等	
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に取り対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 (100%)	5 人 (15.6%)	27 人 (84.4%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 鍼灸院：オスカー整骨院、甲斐整骨院、葛西橋りゅうせい接骨院・鍼灸院、株式会社 YOU FIRST、かやのもり鍼灸整骨院、堺整形外科医院福岡スポーツクリニック、シームズはりきゅう整骨院、志免中央整骨院、新宮中央整骨院・はりきゅう院、すみ整骨院、たばる針灸整骨院、はまの整骨鍼灸院、東合川はりきゅう整骨院、福岡医療学院鍼灸院、福岡平尾鍼灸整骨院 はな、北療センター、むさし鍼灸整骨院、リフトアップ特化型美容鍼「C by CALISTA」、六花鍼灸整骨院、GINZA HARICCHI、Halifa 鍼灸院他			

(就職指導内容) 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果（資格・検定等））		
資格・検定名	受験者数	合格者数
はり師師国家試験	32 人	31 人
きゅう師国家試験	33 人	32 人
JATI-ATI	4 人	4 人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
126 人	9 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3430 単位時間／単位	2310 時間	60 時間	880 時間	0 時間	180 時間
			3430 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		219 人	0 人	10 人	23 人	33 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をととして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56 人 (100%)	4 人 (7.1%)	52 人 (92.9%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院・介護施設等：安部整形外科クリニック、荒木脳神経外科病院、飯島整形外科、大石整形外科クリニック、岡部病院、沖縄第一病院、沖縄リハビリテーションセンター病院、香月病院、かなざわ整形外科・婦人科、河畔病院、（株）Clam life そるた訪問看護ステーション、株式会社 Produce、北川病院、季美の森整形外科、季美の森リハビリテーション病院、九州医療センター、九大学研都市整形外科クリニック、くまの整形外科 スポーツ&肩クリニック、公立八女総合病院、桜十字福岡病院、十善会病院、白山リハビリテーション病院、整形外科スポーツ・栄養クリニック、東京リハビリ整形外科クリニックおおた、同仁病院、登美ヶ丘リハビリテーション病院、長崎原爆病院、長門記念病院、名瀬徳洲会病院、西福岡病院、ばば整形外科クリニック、原宿リハビリテーショ			

ン病院、東福岡和仁会病院、福岡輝栄会病院、福岡県済生会二日市病院、福岡県済生会八幡総合病院、福西会病院、富家病院、藤田整形外科医院、別府医療センター、まつうら整形、諸岡整形病院、山口整形外科医院、山田整形外科、有限会社 スマイル・グット、ユウ整形外科、療育支援エフ他		
(就職指導内容)		
就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果（資格・検定等））		
資格・検定名	受験者数	合格者数
理学療法士国家資格	56 人	55 人
JATI-ATI	14 人	14 人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
240 人	29 人	12.1%
(中途退学の主な理由)		
経済的事由		
成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。		
入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。		
複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	診療放射線科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3000 単位時間／単位	1860 時間	420 時間	540 時間	150 時間	30 時間
			3000 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		182 人	0 人	10 人	16 人	26 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、期試験及びその他の各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等）に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨床実習及び体育実技の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
39 人 (100%)	6 人 (15.4%)	33 人 (84.7%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院等：小波瀬病院、河畔病院、きむら内科・脳神経クリニック、九州労災病院、行徳総合病院、興生総合病院、済生会長崎病院、相良病院、桜十字病院、篠栗病院、島田病院、湘南和泉病院、白石共立病院、新武雄病院、聖フランシスコ病院、長崎県健康事業団、長崎労災病院、成尾整形外科病院、野市中央病院、原土井病院、寛田クリニック、福岡和白病院、福西会病院、ベルランド総合病院、北松中央病院、山口県済生会山口総合病院、やら整形外科医院、横浜旭中央総合病院、淀川キリスト教病院、米盛病院、TMG あさか医療センター他			

(就職指導内容) 就職支援室を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果（資格・検定等））		
資格・検定名	受験者数	合格者数
診療放射線技師 国家資格	40 人	33 人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
153 人	25 人	16.3%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2880 単位時間／単位	1845 時間	0 時間	1005 時間	0 時間	30 時間
			2880 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		183 人	0 人	14 人	48 人	62 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の 各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等） に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨地実習及び体育実技の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時 数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をとおして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45 人 (100%)	5 人 (11.1%)	40 人 (88.9%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 病院等：大阪回生病院、九州労災病院、五反田病院、湘南美容クリニック、新松戸中央総合病院、新吉塚病院、千葉徳洲会病院、長崎県五島中央病院、長崎みなとメディカルセンター、日本医科大学千葉北総病院、のぞえ総合心療病院、白十字病院、阪和記念病院、福岡記念病院、福岡青洲会病院、福岡東医療センター、福西会病院、まるがめ医療センター、宮崎善仁会病院、村上華林堂病院、諸岡整形外科病院、横須賀共済病院、横浜旭中央総合病院等			

(就職指導内容) 就職支援室を設置し、担当の副校長、学科長を中心とした就職支援・指導を実施しているセミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。		
(主な学修成果（資格・検定等））		
資格・検定名	受験者数	合格者数
看護師国家資格	46 人	44 人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
183 人	20 人	10.9%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	歯科衛生科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2430 単位時間／単位	1515 時間	0 時間	900 時間	0 時間	15 時間
			2505 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		45 人	0 人	6 人	28 人	34 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成しホームページ上で公開する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の成績は100点満点とし、定期試験及びその他の 各種資料（定期試験以外の試験、学習態度、出席状況等） に基づいて決定する。原則として60点以上を合格とする。実技実習、臨地実習及び体育実技の成績についても同様とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時 数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。学年ごと授業日数の3分の1以上欠席したものは進級、卒業せしめないものとする。
学修支援等
（概要） クラス運営は複数担任制を導入している。出席状況、補充指導等をととして日々の状況をクラス担任が把握し、保護者との連携を密に対応している。また学生支援室を設置し、学生相談の場として万全なフォロー体制を構築している。さらに附属クリニックにおける専門医の健康相談等の場を設けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 就職支援室を設置し、担当の副校長、学科長を中心とした就職支援・指導を実施している。セミナー・講座を開催し、履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な指導を行っている。医療機関等からの協力によりインターンシップを実施し、学生に対し職業に従事する動機づけを行っている。			

(主な学修成果（資格・検定等）)
(備考)（任意記載事項） 令和5年4月1日新設

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	2 人	7.4%
(中途退学の主な理由) 経済的事由 成績不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 奨学金や教育ローンの拡充をはかり、経済的困難な学生のサポートに努めている。 入学予定者に対するサポートデスクを立ち上げ、入学までの学力向上を図っている。 複数担任制を導入し、学生へのきめ細やかなサポートを継続している。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
柔道整復科	20 万円	80 万円	60 万円	
鍼灸科	20 万円	80 万円	60 万円	
理学療法科	20 万円	50 万円	70 万円	
診療放射線科	20 万円	80 万円	70 万円	
看護科	20 万円	80 万円	70 万円	
歯科衛生科	20 万円	60 万円	42 万円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにて公表		
https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
自己点検・自己評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行う。学校関係者評価委員会を設置し、年1回以上委員会を開催する。評価委員会は、学校運営の改善を目的としており、企業等の役員又は職員、地域住民、業界等の代表7名で構成される。また委員会では、自己点検・自己評価に基づき、教育理念、学校運営、学修成果等について評価をして頂く。その評価については、理事長、事務長、副校長、学科長等で共有し、毎月実施される教職員会議において全教職員に周知させ、理事長を中心に学校運営の改善に努める。評価内容は報告書にまとめ、ホームページ上で公開する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
山本祐司・亮司法書士行政書士事務所	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	地域住民
福岡医療専門学校 非常勤講師	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	有識者
(株) 堺整骨院西 代表取締役	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	卒業生（4期生）
株式会社 INTERACTION 代表取締役	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	企業等委員
医療法人西福岡病院 放射線科 科長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	企業等委員
はり灸院・整骨院・整体院 Re. 庵 代表取締役	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	卒業生（10期生）
医療法人正明会 諸岡整形外科病院 看護部長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日（1年）	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.jusei.ac.jp/outline/hyoka.html
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ： https://www.jusei.ac.jp/ 学校案内 募集要項
--